

とメンタルヘルスセミナーの講師を決定した。続けて、日医産業保健委員会の検討内容と日医が進めている産業医の組織化の構想について説明の後、今後の委員会のあり方について意見交換を行った。

2. 都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会〔6月12日(水)〕について

(藤井常任理事)

日医・松原副会長代読による日医会長の挨拶に続き、厚生労働省・吉田医政局長からの挨拶が行われた。日医より医師偏在対策ならびに働き方改革について4題の講演が行われ、その後厚生労働省を交えた総合討論が行われた。参加者はTV会議システムを含めた237名であった。

3. 第145回日医定例代議員会〔6月23日(日)〕について (深澤副会長)

横倉会長の挨拶と日本医学会の門田会長の挨拶の後、中川副会長より平成30年度日本医師会事業報告があり、その後、第1号議案・平成30年度日本医師会決算の件が上程され、今村副会長により提案理由の説明の後、財務委員会の結果報告が橋本委員長より行われ承認された。次に、第2号議案・令和2年度日本医師会会費賦課徴収の件が上程され、今村副会長より提案理由の説明の後、承認された。その後、代表質問16件の質疑が行われた。北海道ブロックからは、阿久津代議員より『地域医療構想における公立病院との調整のあり方について』、鈴木予備代議員より『警察医部会などの全国組織化について』の質問を行った。

4. 日医理事会報告 (長瀬会長)

中医協の件、第118回社会保障審議会医療保険部会の件、第3回中央医療対策協議会の件、国土交通省令和元年度今後の自動車損害賠償保障制度のあり方に係る懇談会の件等の報告等があった。また事前の理事打合せにおいて、「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」について、令和

2年度診療報酬改定における薬価改定財源(引き下げ分)の診療報酬本体への充当についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

5. 外部各委員会報告

(1) 第1回道南ドクターヘリ運航調整委員会〔6月13日(木)〕について (目黒常任理事)

消防関係部会、フライトナース部会、事後検証部会の開催結果報告後、平成30年度運航経費の決算、搭乗看護師の要件、運航要領の一部改正、運航体制検討WGの設置について案が示され協議した。

(2) 第1回北海道がん対策基金運営委員会〔6月19日(水)〕について (藤原副会長)

本委員会の委員長および副委員長について協議し、委員長に小職、副委員長に北海道がんセンター・加藤院長が選任され、併せて運営委員会細則に則り、小職から審査・評価部会委員5名を選任した。その後、事務局から平成30年度北海道がん対策基金助成事業の実施状況や自動販売機・募金箱の設置状況、がん対策サポート企業の登録状況、本基金の平成30年度収支決算について報告が行われた。

道総医協関連事項 (深澤副会長)

1. 地域医療専門委員会第1回看護対策小委員会〔6月18日(火)〕について (藤井常任理事)

第8次看護職員需給見通しについては、従来の積み上げ方式ではなく、将来の医療需要を踏まえた推計方法を検討することとなっている。この度、国の看護職員需給分科会において都道府県が作業を行うための推計ツールが提示され、国が策定した方法を基に北海道の需給見通し推計を算出し、7月末に国に報告する。また都道府県に裁量がある推計項目の推計方法、今後の看護職員の安定的な確保に向けて効果的な確保対策について協議し、11月には報告書を取りまとめる予定。

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています



<問い合わせ先>

北海道医師会 事業第一課

TEL 011-231-7661

<http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html>

日本医師会電子認証センター

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです